

平成30年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年11月9日

上場会社名 株式会社ユニバーサルエンターテインメント 上場取引所 東
 コード番号 6425 URL http://www.universal-777.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 富士本 淳
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼CFO (氏名) 麻野 憲志 TEL 03-5530-3055
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第3四半期の連結業績（平成30年1月1日～平成30年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第3四半期	67,014	—	△14,479	—	67,668	—	167,968	—
29年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 30年12月期第3四半期 150,604百万円 (—%) 29年12月期第3四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第3四半期	2,124.82	2,120.74
29年12月期第3四半期	—	—

(注) 当社は平成29年12月期に決算日を3月31日から12月31日に変更しており、平成29年12月期第3四半期連結財務諸表を作成していないため、平成29年12月期第3四半期の連結経営成績および平成30年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第3四半期	492,174	381,861	77.6
29年12月期	543,747	230,945	42.6

(参考) 自己資本 30年12月期第3四半期 381,784百万円 29年12月期 231,421百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年12月期	—	0.00	—	—	—
30年12月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

平成30年12月期の期末配当予想は未定としております。

3. 平成30年12月期の連結業績予想（平成30年1月1日～平成30年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	149,000	—	6,200	—	90,000	—	194,600	—	2,466.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

平成29年12月期は決算期変更の経過期間となることから、平成30年12月期の通期業績予想においては、対前期及び対前年同四半期増減率の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年12月期3Q	80,195,000株	29年12月期	80,195,000株
② 期末自己株式数	30年12月期3Q	947,716株	29年12月期	1,264,733株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年12月期3Q	79,050,783株	29年12月期3Q	—株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 連結業績予想について	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(会計方針の変更)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(4) 追加情報	9
(5) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、前期（平成29年12月期）より決算日を3月31日から12月31日に変更したことから、比較対象となる平成29年第3四半期連結財務諸表を作成していないため、対前年同四半期増減率を記載しておりません。

平成30年12月期 第3四半期累計	売上高	営業損失	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益
個別（百万円）	33,237	△8,545	229,711	220,942
連結（百万円）	67,014	△14,479	67,668	167,968

当第3四半期連結累計期間における売上高は67,014百万円、営業損失は14,479百万円、経常利益は67,668百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は167,968百万円となりました。

① パチスロ・パチンコ事業

当第3四半期連結累計期間におけるパチスロ・パチンコ事業の売上高は31,702百万円、営業損失は1,919百万円となりました。

平成30年2月1日より「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行規則及び遊技機の認定及び型式の検定等に関する規則の一部を改正する規則」が施行されました。改正規則を受け、当社においても今後の市場活性化に向けて、規則改正に対応した、より遊びやすく独自性のあるゲーム性を備えた遊技機創出が求められています。

かかる状況下で当社は、顧客であるパチンコホールの「集客貢献」を行う方針のもと販売活動を行いました。パチスロ機においては、7月にアニプレックス社の人気コンテンツ『SLOTハイスクール・フリート』、8月には大手ゲームメーカーである株式会社バンダイナムコエンターテインメントとのコラボレーション企画「ファミスロ」第2弾として『SLOTファミリースタジアム』、9月には名機復活シリーズとして『アレックス』の販売を行いました。

今期から本格的に販売を行っているパチンコにおいては、人気アニメ版権の『CR天元突破グレンラガン』、また大手ゲーム版権の『CRデビルメイクライ4』、『CR遊技性ミリオンアーサー』、パチスロ機でも圧倒的人気を誇る『バジリスク』シリーズを用いた『CRバジリスク～甲賀忍法帖～天膳の章』の市場投入を行いました。

② カジノリゾート事業

当第3四半期連結累計期間におけるカジノリゾート事業の売上高⁽¹⁾は33,828百万円、営業損失は4,758百万円となりました。前四半期(2018年4～6月期)と比較して、当第3四半期の売上高は553百万円減少し、12,187百万円となりました。なお、前四半期の売上高が大きかった要因は、VIP向けのカジノの売上高が、大手ジャンケット⁽²⁾のランドオープニングイベントに関連して一時的に増加したためですが、その特殊要因を除くと、当第3四半期中の売上高は順調に伸びています。当第3四半期中は、当期中に開始したマス向けのマーケティング新施策（会員ロイヤリティ・プログラムやプロモーションの改善等）の効果が出てきており、フィリピン最大設置数のスロットマシン及びテーブルの好調な稼働によって、マスマーケットでの売上が増加しました。前四半期の一時的な増加要因を除くと、カジノ売上市場シェアはさらに拡大しました。

当第3四半期におけるカジノリゾート事業の営業損失は、第2四半期比で減価償却費が663百万円増大したこと等により、125百万円増加し、1,737百万円となりました。しかし、当第3四半期の当事業の調整後EBITDA⁽³⁾は1,081百万円で、第2四半期の269百万円、第1四半期の20百万円から大きく増加しました。当第3四半期の調整後EBITDAが増加した要因として、第1四半期から第3四半期にかけてカジノの売上が上昇傾向にあることと、利益率の高いマスマーケットからのカジノ売上が占める割合が上がったことが挙げられます。

- (1) 売上高は、総売上高からゲーミング税及びジャックポット費用を控除したものです。
- (2) ジャンケットとは、VIPプレーヤー個人やVIP団体客をカジノに集客する中間業者のこと。カジノホテルは、VIPカジノルームの一部をジャンケットに対して貸し出します。
- (3) 調整後EBITDA = 営業損益 + 減価償却費及び償却費 + その他の調整項目

③ その他

当第3四半期連結累計期間におけるその他の売上高は1,312百万円、営業利益は792百万円となりました。

メディアコンテンツ事業においては、App Store・Google Playにて『沖ドキ！バケーション』及び『SLOTギルティクラウン』のシミュレーターアプリを配信いたしました。『SLOTギルティクラウン』は、App Store・Google Playランキングでも上位を維持し、好評をいただいております。

ビデオスロットをメインにしたソーシャルゲーム『スロットストリート』では、弊社過去機種をモチーフにした「ドギージャム」「レッツ」「レインボークエスト」等のタイトルを配信いたしました。また、アメリカ・カナダ・オーストラリアにおいて、Facebook版の配信を開始いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は90,243百万円となり、前連結会計年度末に比べ770百万円減少いたしました。固定資産は401,930百万円となり、前連結会計年度末に比べ48,696百万円減少いたしました。これは主に投資有価証券が51,393百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、492,174百万円となり、前連結会計年度末に比べ51,573百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は103,812百万円となり、前連結会計年度末に比べ30,222百万円増加いたしました。これは主に未払法人税等が12,791百万円増加したことに加え、短期借入金が21,176百万円増加したことによるものであります。固定負債は6,500百万円となり、前連結会計年度末に比べ232,710百万円減少いたしました。これは主に長期借入金84,120百万円減少したことに加え、社債が149,125百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、110,312百万円となり、前連結会計年度末に比べ202,488百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は381,861百万円となり、前連結会計年度末に比べ150,915百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が167,968百万円増加したこと、及び為替換算調整勘定が16,908百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は77.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

① パチスロ・パチンコ事業

第4四半期においては、10月にパチスロ機『デュエルドラゴンプラス』の市場投入を行いました。当社の往年の名機「デュエルドラゴン」の懐かしさの中に「興奮と刺激」の要素が加わり、幅広いユーザーに楽しんでいただけます。

パチンコ機では、大手ゲームメーカーである株式会社スクウェア・エニックスとコラボレートした『CRスターオーシャン』の販売を開始しております。「スターオーシャン」は、スクウェア・エニックス社の人気ゲーム版権を用いており、遊びやすさの上に納得の出玉感で幅広い客層にご遊技いただけます。

現状の遊技機市場は新規則に則した遊技機の市場評価が不透明なため、パチンコホールの遊技機需要は低調に推移しておりますが、当社はこうした市場環境・開発環境の変化を好機と捉え、幅広いファンの皆様に楽しんでいただけるような、斬新かつ魅力的な遊技機創出に努めてまいります。また、魅力的な遊技機を通してファンの皆様やパチスロ・パチンコ業界全体の活性化に貢献していきたいと考えております。

② カジノリゾート事業

統合型リゾート施設「Okada Manila」では、引き続き稼働施設の拡張に注力してまいります。

第4四半期においては、ホテル客室数がさらに増えることで、カジノ事業が引き続き成長し、団体客のイベントや海外ツアー客のさらなる受け入れが見込まれます。

VIP向けカジノでは、客室や施設の供給状況が改善し、既存のジャンケットの需要を満たすことによる継続的な収益増加に加え、新たに契約予定のジャンケットによる売上追加が期待されます。なお、ローリングチップ数⁽¹⁾に対する勝率は、2.7%から3.0%を想定しています。

また、マスマーケット向けカジノにおいても、マーケティング施策の継続・改善と、さらなる施設拡張に伴う成長が見込まれます。ホテル客室数や、ショッピングモール店舗、その他施設の追加によって、リゾート全体への来場者数が増え、マスマーケット向けのカジノ売上が増加すると予想します。

第4四半期は、単なる売上高増加だけでなく、ジャンケットとの契約条件の見直し、利益率の高いマスマーケットからのカジノ売上の増加、固定費の吸収により利益率がさらに改善し、当事業の調整後EBITDAも拡大する見込みです。

当社グループは、カジノリゾート事業の中核会社であるTiger Resort, Leisure and Entertainment, Inc.の成長を加速すること及び同社の知名度の向上等のために、2019年中の同社の株式公開に向けて準備を進めております。当社は、株式公開準備としてAsiabest Group International Inc.の株式を取得する契約を締結することを、2018年9月11日に発表しました。今後については、詳細等が決まり次第、順次開示してまいります。また、Tiger Resort,

Leisure and Entertainment, Inc. は、2018年9月20日に日本支店を開設し、日本のIR法案に関する調査分析及び日本におけるカジノリゾート事業の可能性について検討を開始しました。

- (1) ローリングチップ数とは、ローリングチップ (VIP向けチップ) を使って、プレイヤーが賭けて失った額の合計です。

③ その他

メディアコンテンツ事業においては、引き続きApp Store、Google Play及びその他プラットフォームにて、高品質なシミュレーターアプリを提供してまいります。

ソーシャルゲーム『スロットストリート』においては、新規タイトル及び機能の追加を行うことで新規登録者数の増加及び継続率の向上に努めてまいります。また、北米を中心とした海外マーケットでは、App Store版・Google Play版の配信を皮切りに、さらなるワールドワイドな展開を予定しております。

今後も新規ゲーム事業の検討を随時行いつつ、ユーザーの皆様のご期待に応えるサービスを展開してまいります。

(4) 連結業績予想について

今後の為替相場の変動、販売の状況をふまえて、修正が必要であると判断した場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,809	39,139
受取手形及び売掛金	9,237	7,110
有価証券	13	2,198
商品及び製品	2,049	1,461
仕掛品	12,263	9,361
原材料及び貯蔵品	20,829	19,440
その他	11,327	12,009
貸倒引当金	△516	△476
流動資産合計	91,013	90,243
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,046	203,193
土地	7,251	7,246
建設仮勘定	293,375	102,601
その他	24,347	36,109
有形固定資産合計	344,020	349,151
無形固定資産		
その他	2,608	2,491
無形固定資産合計	2,608	2,491
投資その他の資産		
投資有価証券	59,329	7,936
長期預け金	7,017	6,973
関係会社長期預け金	27,523	27,417
その他	10,894	8,694
貸倒引当金	△767	△734
投資その他の資産合計	103,997	50,288
固定資産合計	450,627	401,930
繰延資産	2,107	—
資産合計	543,747	492,174

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,245	3,515
短期借入金	17,456	38,633
1年内返済予定の長期借入金	1,607	—
未払金	20,299	17,489
未払法人税等	190	12,981
賞与引当金	80	275
その他	27,709	30,916
流動負債合計	73,590	103,812
固定負債		
社債	149,125	—
長期借入金	84,120	—
退職給付に係る負債	94	135
その他	5,870	6,365
固定負債合計	239,211	6,500
負債合計	312,801	110,312
純資産の部		
株主資本		
資本金	98	98
資本剰余金	20,087	18,831
利益剰余金	216,255	384,224
自己株式	△2,654	△1,989
株主資本合計	233,786	401,164
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△581	△689
為替換算調整勘定	△1,789	△18,698
退職給付に係る調整累計額	5	7
その他の包括利益累計額合計	△2,365	△19,379
新株予約権	107	76
非支配株主持分	△582	—
純資産合計	230,945	381,861
負債純資産合計	543,747	492,174

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高	67,014
売上原価	40,386
売上総利益	26,627
販売費及び一般管理費	41,107
営業損失(△)	△14,479
営業外収益	
受取利息	74,710
受取配当金	18
為替差益	9,339
その他	182
営業外収益合計	84,250
営業外費用	
支払利息	592
社債利息	520
支払手数料	608
持分法による投資損失	337
その他	44
営業外費用合計	2,102
経常利益	67,668
特別利益	
和解による株式償還差益	158,796
その他	80
特別利益合計	158,877
特別損失	
社債償還損	4,693
訴訟関連損失	2,836
その他	114
特別損失合計	7,644
税金等調整前四半期純利益	218,901
法人税、住民税及び事業税	50,062
法人税等調整額	1,219
法人税等合計	51,282
四半期純利益	167,618
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△349
親会社株主に帰属する四半期純利益	167,968

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年1月1日 至 平成30年9月30日)
四半期純利益	167,618
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△107
為替換算調整勘定	△16,908
退職給付に係る調整額	1
その他の包括利益合計	△17,014
四半期包括利益	150,604
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	150,954
非支配株主に係る四半期包括利益	△349

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(Wynn Resorts社との和解に関する会計処理について)

Wynn Resorts Limited (NASDAQ: WYNN、以下「ウィン・リゾート社」)との民事訴訟に関しては、この判決の内容次第で発生する可能性のある当社及び連結子会社等からなる企業集団の特定期間の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に与える影響を確実に見積もることが困難である事実を踏まえ、平成25年3月期連結会計年度末よりウィン・リゾート社株式を取得原価で評価しておりました。また、ウィン・リゾート社が発行した長期受取手形に対する受取利息として、これまでに6年分が裁判所の事務官宛てに、同事務官の信託口座への預け入れ用として発行されましたが、請求権の原則に基づいて、当社連結財務諸表には利息小切手発行に係る事実を反映させておりませんでした。

当社及び当社子会社Aruze USA Inc. は平成30年3月8日(米国現地時間)に、ウィン・リゾート社との間で和解契約を締結し、当該和解契約に基づき、ウィン・リゾート社の発行した長期受取手形の額面に係る入金額と、投資有価証券として計上してきたウィン・リゾート社株式の取得原価との差額158,796百万円を、和解による株式償還差益として連結損益計算書の特別利益に計上しております。

また、当該和解契約に基づき、ウィン・リゾート社が発行した長期受取手形に対する受取利息として裁判所事務官の信託口座に発行してきた6年分の利息小切手に、当社グループが主張する市場金利に基づいて算定した場合の利息のみとの差額を加えた合計74,471百万円を、財務収益であるため受取利息として連結損益計算書の営業外収益に計上しております。

加えて関連する訴訟費用2,836百万円を、連結損益計算書の特別損失として計上しております。

(借入費用の取得価額算入)

カジノリゾート事業に要した資金のうち、その建設資金を借入金及び社債(私募債)により調達している長期プロジェクトで、かつ、その金額が重要なものについては、建設期間中に対応する借入費用を取得価額に算入しております。

(5) 重要な後発事象

該当事項はありません。